

『メンゲレの気持ち』

◇登場人物

- ・工場長／一般工員
- ・主任工員
- ・ムネオ

ラジオ体操の音楽が響いている。

3名並んでラジオ体操をしている。

工場長と主任はキレよく踊り、ムネオは、二人の動作を見ながら不格好な動きを繰り返している。

ラジオ体操が終わり、

主任 工場訓、斉唱！

工場長 はい！

ムネオ（少し遅れて）はい！

主任 一つ、我々は、ソーセージの製造を通じ、心身を磨いて人格完成に努めること！

工場長、主任の後に続いて唱える。

ムネオ、周りをキョロキョロ眺めている。

主任 一つ、我々は、ソーセージの神髄を究め、腸の中に、肉・愛・魂を

たっぷりと詰め込むこと！

工場長、主任の後に続いて唱える。

主任 一つ、我々は、ソーセージに真摯に向き合い、尊重し、決してその単語を、男性器を彷彿とさせるような卑猥なギャグに使用しないこと！

工場長、主任の後に続いて唱える。

主任 四月一日、月曜日。本日より、新年度のスタートとなります。それに伴い、この工場に新たな仲間が一名増えました。じゃあ、村木くん。

主任、ムネオに目配せをする。

ムネオ、主任の隣に立つ。

ムネオ 村木宗男です。ソーセージを作ることも、工場で働くこともはじめてなので、皆さんから多くのことを吸収できたらと思います。宜しくお願いします。

一同、拍手。

主任 村木くんは、商品開発部での採用ですが、当社商品をよく知ってもらうため、しばらくは実際に工場内の製造現場を回ってもらうことになります。宜しくお願いします。

ムネオ 宜しくお願いします。

主任 それでは、工場長、お願いします。

工場長、前が出る。

工場長（急にしゃくれる）元気ですかー！

主任 オー！

ムネオ ……。

工場長 元気があれば、なんでも出来る。エへへ（笑い）。この道を行けばどうなるものか。危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わずゆけよ。行けばわかるさ。いくぞく！！ 1、2、3、

工場長、急に主任にビンタをする。

ムネオ えー？

主任 ありがとうございます！（少しフラツク）

ムネオ えー？

工場長 本日も、怪我なく安全に頑張りましょう。ダート！（拳を突き上げる）ありがとうございます！

工場長、去る。

主任 それでは、各々業務をはじめてください。

ムネオ ……大丈夫ですか？

主任 ん？ なにが？

ムネオ ……三半規管とか。

主任 大丈夫。ほら、俺、アレだから。

ムネオ ……はあ。

主任 村木くん、こっち。

主任、工場の導線（ベルトコンベア）に沿って歩き出す。

ムネオ、主任の後を付いて行く。

それぞれの行程の作業場を歩きながら、包丁、トンダ、大きいボウル、ミンチ機、塩こししよう、ホース、はさみ、袋などを手にした一般工員が、次々流れて行く。

ムネオ（流れて行く作業場を見ながら）ソーセージって、手作業の行程が

意外と多いんですね。てっきり全部機械だと思ってました。

主任 ウチだけだよ。工場長のこだわりが強くてさ、機械を信用しない人

なんだよ。社長が掛け合ってもダメ。工場長は社長のこと凄く尊敬してんだけど、でもそこだけは譲らなくてさ。

ムネオ 後で、製造行程をじっくり見学してもいいですか？

主任 まあ、君が望むなら。

二人、工場長の部屋の前まで来ている。

主任（ドアをノックし）工場長、村木くんをお連れしました。

主任、幾重にも重なるドアを開け、ムネオを部屋の中に案内する。

ムネオ ここは？ やけに厳重ですけど。

主任 工場長の部屋だよ。この工場はウチの会社の心臓だけど、なかでもこの部屋はその中枢だからね。むき出しにするわけにはいかないだろ。

ムネオ そっか……。

ムネオ、主任に促され椅子に腰掛ける。

ムネオ 工場長は、いつもああなんですか？

主任 ああ、つて？

ムネオ いきなりビンタとか……。

主任 そうだね。取り憑く人は毎回違うけど、だいたいあんな感じ。

ムネオ ……あれ、取り憑かれてるんですか？

主任 そういう体質らしい。

ムネオ はあ。

主任、奥の部屋に入っていく。

工場長、いきなりムネオの背後から現れる。

工場長 おい、ムネオ！

ムネオ（飛びあがるように椅子から立つ）うわっ！

工場長 やっぱムネオじゃーん。

ムネオ あ、お疲れ様です。

工場長 まあ、座んなさい。

ムネオ、言われるがまま椅子に腰掛ける。

工場長、そばに腰掛ける。

工場長 あれか。ムネオは、「そうめん」と書いて、ムネオか。

ムネオ そうめん……ですか？

工場長 宗教の「宗」に、「男」だろ？ ソウ、メン、だろ？

ムネオ ……たしかに。

工場長 あれか。お母さんが、揖保乃糸の管理組合にいるのか？ もしく

はあれか。腹違いの弟がいるのか？ そっちの異母か？

ムネオ どっちでも、ないんですけど。

工場長 素麺つてさ、フォー・メンと似てるよな？

ムネオ ……あの、フォー・メンという……。

工場長 あれだよ、ニベアだよニベア。ニベア・フォー・メン。お前、ニ

ベア・フォー・メンに似てるよな。

ムネオ ……言われたことないですね。

工場長 あ、そう。フォー・メンで思い出したんだけどさ、新商品作った

んだけど、食う？

ムネオ あ、はい……。

工場長 山田くーん！ ムネオにフォー・メンを一本やんなさい。

主任の声 はい。

主任、ソーセージをフォークに刺し持つてきて、ムネオに渡す。

ムネオ（受け取り）あ、ありがとうございます。

主任 まだ試作品だけだね。ウチの看板商品『ハナラビソーセージ』の新たなラインナップとして、「男味」というのを加えたらどうかと、工場長が社長に提案して。

ムネオ なるほど。男性好みの味にするってことですか？

主任 そういうこと。だから、従来のウチの商品よりも少しこってりした味付けになってる。食べていいよ。

ムネオ いただきます（一口齧る）。

工場長 どうだ？ イマイチだろ？

ムネオ え？ いや、おいしいですよ。

工場長 どうだかねー。なんか違う。

ムネオ あの、男味があるなら、女味というのも発売するんですか？

工場長 お前女じゃないだろ。

ムネオ そうですけど……。

工場長 じゃあ、大丈夫！

ムネオ ……はい。

主任 今広まってるウチのソーセージ自体が、元々女性ウケを狙ってるんだよ。事実、女性人気の方が高いし。

工場長 ソーセージ買うのは主婦層だからな。

主任 だから、今のところは「男味」だけを考えてる。

工場長 お前さ、なんでウチの会社に入ったんだ？ お前の学歴ならもっ

といい会社入れたろ？

ムネオ いやいや、いい会社じゃないですか。昔から好きだったんです、ハナラビフーズのソーセージ。

工場長 ふーん。

ムネオ 確かに会社自体の規模は小さいですけど、でもソーセージの国内シェア、ダントツで日本一ですよ。誰だって憧れますって。

主任 シェアナンバー1をとったのは、三年前に工場長がウチにやってきてからなんだよ。お陰で、ソーセージ部門だけ単独で工場持てちゃったし。

工場長 いいぞ、単独工場は。何をやってもお咎めなしだ。でも、まだまだ足りないんだよな。もっと広めなきゃな、ウチのソーセージを。

ムネオ さらにですか！ あ、そのための、この「男味」。

工場長 当たり前だろ。

ムネオ なにか戦略とかもあったり？

工場長 まあ、戦略ではないんだけど。あのね、バラまくんだよ。無料でバンバン。

ムネオ ソーセージを？ それ大丈夫なんですか？ コストとか。

工場長 いいんだよ、そんなのは。バラまくためにいま儲けてるみたいな部分があるからね。

ムネオ でも、それじゃ会社に利益が残らないんじゃない？

工場長 あのね、ドラッカーが言ってたろ？ 利益ってのは、目的じゃなく、目的を達成する為の手段だって。そんなこと、高校野球のマネージャーでも知ってるぞ。

ムネオ はあ。

工場長 あかね、俺たちは二種類のソーセージを作っている。

ムネオ はい。

工場長 一つは、食べられるソーセージ（ムネオの手にあるソーセージを

指す）。もうひとつ知ってるか？

ムネオ ……食べられないソーセージ、ですか？

工場長 なんだそれ？

ムネオ いえ、なんとなく。なんですか？

工場長 双子だよ。

ムネオ え？ ……なんですか？

工場長 だから双子。双生児。

間

工場長 なんか俺変なこと言った？

工場長、主任を見る。

主任、首を横に振る。

工場長 で、お前はなんでウチの会社に来た？

ムネオ だから、この会社のソーセージが…。

工場長（さえぎって）聞き方を変えよう。厚生労働省の人間が何の用だ？

主任、ムネオの隣に立ち、無言の圧力をムネオにかけている。

ムネオ 何ですか？ 厚生労働省？ 僕が？ 何言ってるんですか！

工場長 何か気になるなら、真正面から調査でもしに来いよ。

ムネオ え？ 何の話ですか？

主任 ハナラビフーズの看板商品『ハナラビソーセージ』には、指定外の

添加物や成分が組み込まれている。

ムネオ へ？

主任 どこからかリークでもあったの？

工場長 言っとくけどさ、何にも悪いことしてないよ？ 逆にね、お前ら

の味方。国の為になんかやっただよ。

ムネオ ……どういことですか？

工場長 教えるよ。ウチのソーセージにはね、排卵誘発剤が入ってるの。

ムネオ 排卵誘発剤？ 不妊治療に使う薬ですか？

工場長 そうだよ。

ムネオ なののために！

工場長 だから言ったろ。俺たちは、ソーセージを作ってるんだよ。

ムネオ わかるように説明してください！

工場長 排卵誘発剤を使うと、双子が生まれてくる確率が増えるらしい。

ムネオ だからそれが何のために…。

工場長 だからお前らのためだつて！ 少子化対策なんだつて騒いで

るのは、お前ら厚生労働省だろ？

ムネオ それと、双子を作るのと、何の関係があるんですか？

工場長 晩婚化や女性の社会進出が少子化の一因になつてるとして、だ。

だからつて、若い年齢での結婚を強制できるか？ 働くことを禁止で  
きるか？ できないだろ？ そこで、双子だ！ 生まれてくる子が全

員双子だったら、単純に、子どもの数が二倍近くになる。そしたら、ほら見ろ、少子化問題解決じゃないか！

**ムネオ** だからって、何の処方もなしに排卵誘発剤を使用して、もし女性の健康面に悪影響が出たらどうするんですか？ そのリスクは見て見ぬ振りですか？

**工場長** リスクを避けてばっかりで何の成果も出せない行政機関はいったいどこだ！ これからますます若い人口が減っていつて、誰がこの国を支えてくんだよ？ そんな大役を担う存在が、失われていくの、この現状をお前らは、国は、ただ手をこまねいて見ているのか？ なんとかしようとは思わないのか？ 別に俺たちは誰かを殺しているわけじゃない。新しい命を増やそうとしているんだ！ それをなぜ止める！

問

**工場長** 実際に調べてみる。ここ最近の出生率と双子の出産の割合な、徐々に改善されてきているんだよ。これ、俺たちのお陰だろ？ お前らが児童手当だ子育て支援だ何だかってやってもよ、下がってくだけだったろ出生率は！

**主任** さっき、工場のなかを少し歩いた時、なにか気が付かなかった？

**ムネオ** え？ 何をしたんですか？

**工場長** 俺と同じ顔したヤツが、何名かいたろ？

**ムネオ** そういえば……。

**工場長** 俺ムツゴなんだよ。

**ムネオ** え！

**主任** ムツゴはいいですよね、一気に六倍です。

**工場長** さて、こいつをどうするかね。

**主任** そうですね、話全部聞いちゃいましたからね。

**ムネオ** ちよつと！ なにをするつもりですか！

**工場長** ソーセージにしちやおう！ 人肉も豚肉も同じような味だ。

**ムネオ** え？ 冗談ですよね？

**工場長** なんで？

主任、工場長に銃を手渡す。

**ムネオ** やめてくれよ！

**工場長** (主任に) お前ね、これでもし銃弾が身体の中に残ったら加工する時間倒だろう。

工場長、主任に銃を返す。

**主任** そうですね。

**ムネオ** 何にも悪いことはしてないって、言ってたじゃないですか！

**工場長** 何万人も人口を増やしたんだから、一人殺したところで特に問題はないよね。

**主任** (フオークをムネオから奪い取り) これなんかどうですか？

**工場長** 素晴らしい。

工場長、フォークを取り、刃先ををムネオに向ける。

ムネオ すいません！ 言いませんから！ なかったことにしますから！  
ら！

ムネオ、土下座し、額を床に擦り付ける。

間

工場長 うっそーん。

ムネオ、恐る恐る顔を上げる。

ムネオ へ？

主任 今日は、四月一日です。

間

ムネオ ああ・・・なんだ、そういうことか。ビックリした。

主任 毎年やってるんだよ。その年の新入社員にさ。

ムネオ 毎年ですか？ 二人して趣味が悪いですよ……ってことは、さっきの排卵誘発剤の話は？

主任 安心して。変な成分は何にも入ってないよ。

ムネオ なんだ、良かった。

工場長 発売中のソーセージには、な。

ムネオ ……はい？

工場長 立ってみる。

ムネオ え？ なにを……。

ムネオ、ゆつくりと立ち上がる。その瞬間、股間の膨らみに気が付きすぐに隠そうとする。

ムネオ ハッ！

主任 「男味」には、ちゃんといろいろ入ってるよ。精力剤とか。

工場長 子どもを産むには、男性に「夜の活力」が必要だから……どうした、ムネオ？

ムネオ ……僕の、ソーセージが。

工場長 卑猥なギャグに使うんじゃない！

照明 C・O

了